



つながる

協創自 校
力造主 訓

R7. 4. 22(火) No.2 立野 健一

4・5月の「三中 重点事項」

学校教育目標の達成のために、各専門委員会が年間計画を立て、各月ごとに様々な取組を行います。その中のひとつに、生活委員会から出される「三中 重点事項」があります。4・5月の重点事項を説明するために、生徒会長と生活委員長が校長室を訪れました。

4・5月 三中重点事項 「つながる」

- 自分から進んで挨拶
- 色々な人とコミュニケーションをとる
- 団やクラスの為に力を尽くす

「校長先生の思いを受けて、重点事項を決めました。」と力強く説明してくれました。本当にありがとうございます！「仲間とつながる」ためには、まず自分が心を開かなければなりません。その第1歩がまさしく挨拶です。毎朝、生徒会執行部が正門や体育館前など、様々なところに立って挨拶運動を行っています。私も毎日朝から正門にいますが、本当によく挨拶をします。緑ヶ丘小学校の校長先生からも「大きな声で気持ちのいい挨拶をしてくれる。登校中でも立ち止まって挨拶をしてくれる生徒もいる。本当に感心します。ぜひ生徒に伝えてください。」とお褒めの言葉をいただきました。

では「仲間とつながる」ための次の1歩は何でしょうか？私は、挨拶のあとに何か一言、言葉を続けてみることにと思っています。「おはようございます。今日もご苦労様です。」

「おはよう。今日は暑いね。」「おはよう。昨日の試合どうだった？」もしかすると、ここから会話が広がるかもしれません。実はこの何気ない挨拶のあとの一言が「色々な人とコミュニケーションをとる」ことの始まりかなと思います。こんなこと、全ての人に対していきなりはできないと思います。でも、今まで挨拶くらいしかできなかった人に、誰かひとりでもいいので、一言付け加えてみたらどうでしょうか。何か変わるかもしれません。

逆に一言付け加えられた方は・・・「おはよう。今日は暑いね。」「おはよう。今日は20℃を超えるらしいよ。』・・・これで十分です。チャレンジしてみませんか？

そんな温かい朝のスタートで始まる日常生活。自分の夢実現のために日々勉強にスポーツにみんな頑張っています。そんななかで自分の夢に近づいたとき、みんな幸せを感じます。しかし、自分の成長以外でも幸せを感じる瞬間があります。それは、「誰かの役に立った」と感じた瞬間です。誰かの役に立ったと思えた時には、「自分はここにいてよかった」「自分の居場所はここだ」「自分って必要な存在だ」と感じます。三中生全員が必ず誰かの役に立っていて、そのことに自分自身では気づいていない場合が多いです。だから、「MVS」の表彰をするのです。目立たなくても、本人が気づいていなくても、表彰することで「自分は誰かの役に立っている」と意識することが目的なのです。これが「団やクラスの為に力を尽くす」「つながる」ことができた姿ではないかと思います。4月の「MVS」の表彰は5月に行います。今から私はワクワクしています！

入学式・歓迎行事の様子

入学式に向けて3年生が取り組んだこと、入学式で私が話したこと、歓迎行事の様子について紹介します。

【入学式に向けて・入学式】

本来ならば、全校生徒出席のもとで新入生をお迎えしたいところなのですが、体育館が狭いために生徒会執行部30名のみの参加となりました。前日の始業式を上回る校歌斉唱で新入生を迎えたいと思っていたのですが、それがかなわずに残念だと思っていたところ…入学式の準備が終わったところに音楽室から校歌が聞こえてきました。2階に上がり教室をのぞいてみると、生徒会担当の松本先生と3年主任の三次先生が、音楽担当の福田先生の伴奏のもと、執行部と一緒に校歌の練習をされていました。執行部の生徒の表情もよく、校歌の練習後には執行部の生徒の気持ちを鼓舞するような先生方のお話もあり、すがすがしい思いになりました。先生方の働きかけのおかげで、私も大きな声で歌おうという気持ちがさらに湧きました。

そして入学式…。しっかりと前を向いて力強く入場する姿、一人一人の決意が表れた返事の声と新入生の誓いの言葉。そして職員と執行部30名で歌った校歌斉唱。素晴らしい入学式になりました。なんの働きかけもなければ、何となく終わったかもしれない入学式の校歌斉唱ですが、少し意識を変えるだけで素敵な活動に変わりました。きっとこの校歌斉唱が、次の大きな行事である体育大会にもつながっていくのだらうと信じています。体育大会がすごく楽しみです。

【歓迎行事】

歓迎行事が始まる際に、先輩達には「相手意識を持つこと（誰のために行うのか）」、1年生には「教えてもらおう」「楽しませてもらおう」ではなく、「学ぼう」「楽しもう」という主体性をお願いして始まりました。お世辞抜きに素晴らしい会となりました。しっかりと準備をしてきたなというのが伝わってきました。これでもか、というくらい準備に時間をかけることが大切だと感じたし、人前で恥ずかしからずに発表するには経験を重ねることが重要だとも感じました。

各専門委員会の紹介は間延びしてしまいがちになることが多いのですが、短い時間ですっきりとまとめてあり、非常に聞きやすい、そしてわかりやすい説明でした。そのあとの部活動紹介は、自分たちだけの自己満足の紹介になりやすいのですが、こちらでも短い時間の中で伝えたいことをしっかりと伝え、練習の雰囲気も少し垣間見えるなど、飽きることがありませんでした。このような会は、発表者だけでなく聞く方（1年生）の協力がなければうまくいかないのですが、これまたきちんとした態度で最後まで話を聞くことができ、お礼の言葉も感謝の思いがしっかりと伝わる内容でした。

実は歓迎行事が始まる前に、1年生の各クラスの担任の先生方が、整列や返事の大切さを繰り返し練習させながら意識付けをされていました。その後、歓迎行事に臨む心構えを熱く語っていただいたおかげで、1年生だけでなく発表する生徒にとっても、引き締まった時間になったように思います。「意識が変わると行動が変わる」を実感でき、先生と生徒が一体となって、「これくらいでいいか」ではなく、「少しでもいいものを」と考えて、取り組んだ成果が表れた1時間となりました。ありがとうございました！